

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 金融課
 担当名: 企画・制度融資担当
 内線: 3801

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B31	中小企業制度融資利子補給費			一般会計	商工費	商工業費	金融対策費	中小企業制度融資事業費	
事業期間	昭和29年度～令和19年度	根拠法令	埼玉県中小企業制度融資要綱ほか			針路分野施策	11 稼げる力の向上 1102 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援	SDGsゴール 8 SDGsターゲット 8-3	
1 事業概要	<p>県が金融機関に対して利子補給を行うことにより、各種の目的に対応した融資制度を設け、地域経済を支える県内中小企業者の金融の円滑化を図るもの。 県経済の発展のため、県内中小企業者への資金繰り支援をさらに充実することが必要である。</p> <p>(1) 中小企業制度融資利子補給費(新規分) △314,748千円 融資実行額が当初の見込みを下回ることによる減</p> <p>(2) 中小企業制度融資利子補給費(継続分) △ 3,409千円 融資残高が当初の見込みを下回ることによる減</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 ア 融資枠 3,500億円 (うち利子補給対象資金 2,900億円) イ 利子補給額 13,511,845千円 (ア) 令和4年度の新規融資実行分に対する利子補給 491,750千円 (イ) 令和3年度以前の融資実行分に対する利子補給 13,020,095千円</p> <p>(2) 事業計画(令和3年度からの主な変更点) ア 前向き資金の拡充(設備投資促進資金に3要件を新設) 企業の成長に向けた「稼げる力」の向上に向け、対象者要件を拡充するとともに、融資利率を引き下げる。 イ 伴走支援型経営改善資金の創設 感染症等の影響を受けた県内中小企業が、金融機関の継続的な伴走支援を受けながら経営の安定や再生に取り組む場合に、低利の制度融資を利用できるようにする。 ウ 創業者向け融資の統合 新事業創出貸付、独立開業貸付及び女性・若者起業家支援貸付を統合して要件を緩和し、創業者支援の更なる充実を図る。</p> <p>(3) 事業効果 中小企業者の金融の円滑化、県経済の活性化</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 商工団体(商工会議所・商工会)や金融機関による広報活動や融資相談など</p> <p>(5) 補正予算の概要 設備投資促進資金等の融資実行額が見込みを下回ることなどによる減額</p>					
2 事業主体及び負担区分	(国10/10) 県0 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況	普通交付税措置 (区分) 商工行政費 (細目) 中小企業振興指導費 (細節) 中小企業金融対策費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×2.4人=22,800千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	繰入金	諸収入					
決定額	△318,157	△117,852	△102,279	153,590				△251,616	13,193,688
現計額	13,511,845	251,250	1,152,216	11,691,437				416,942	

事業内訳書

事業名	中小企業制度融資利子補給費		
単位事業名	中小企業制度融資利子補給費（新規分）	予算額	△ 314,748千円

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△314,748	—	利子補給費 設備投資促進資金等の融資実行額が見込みを下回ることによる減
合計	△314,748	—	

単位事業名	中小企業制度融資利子補給費（継続分）	予算額	△ 3,409千円
-------	--------------------	-----	-----------

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△3,409	—	利子補給費 経営安定資金等の融資残高が見込みを下回ることによる減
合計	△3,409	—	